

～めざそう 災害に強い土岐川・庄内川～

「ハエ～」、「なるほど」 がいっぱい



～ 普段見られない工事の様子、詳しくお見せします ～

平成25年1月10日
国土交通省中部地方整備局
庄内川河川事務所

小里川ダム魅力を街づくりに活かそう

～瑞浪市陶町の街づくり組織が体験見学～

小里川ダム南部活性化陶検討委員会※は、小里川ダムを活用し地域の活性化につなげようと、ダムの近況を確認します。

小里川ダムでは、冬の魅力を案内する見学会を開催しており、この見学会に同委員会が参加するものです。見学会では、ダムの冬の魅力（水を湛えたダムの様子・1年中変わらないダム内部の温度など）や周辺の魅力（いわくら・細寒天など）についての説明を聞き、併せて、ダム湖周辺の環境保全対策の一環として、現在行っている「ダム湖に面した岸」の防災対策工事（法面工やアンカー工）を法面下のステージまで降りて見学します。寒い時期ですが、現場の熱気を感じとっていただきます。

※小里川ダム南部活性化陶検討委員会とは

陶町の自治会（区長、区長のOB、街づくり推進委員会）を中心に構成され、小里川ダム左岸、瑞浪市陶地区の地域を活性化しようとする団体。「秋の小里川ダム湖周ウォーキング」の共催や「星を見る会」の活動を行っている。

1. 日時 平成25年1月16日（水） 9時30分～11時00分
2. 場所 小里川ダム管理支所横の駐車場
（住所：岐阜県恵那市山岡町田代1565-21）
3. 内容 小里川ダム堤体見学、法面アンカー工事見学
4. 参加者 10名程度
5. 添付資料 別添1 【冬の小里川ダム見学】
6. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、多治見市政記者クラブ、恵那記者会

※取材について 現地取材を希望される報道機関におかれましては、1月15日（火）15時迄に別紙「取材登録書」をFAXにて提出をお願いします。

【問い合わせ先】

庄内川河川事務所

小里川ダム管理支所長 中島 一郎

電話 (0573) 59-0056 (直通)

FAX (0573) 59-0058

～冬の小里川ダム見学～

冬にしか見ることでできない小里川ダムの様子や周辺の魅力などについてご案内し、併せて、現在、「ダム湖に面した岸」で行われている防災対策工事についても、分かりやすく丁寧に説明します。

◆小里川ダムの冬の魅力

小里川ダムは、洪水期の6月1日～10月15日はダム湖の水位を標高353mに保ち、洪水に備えています。非洪水期である10月16日～5月31日のうち12月16日～1月15日は、標高371mまで水位を上げて管理しています。そのため、水を湛えた雄大なダムを見ることが出来ます。この状態を見られるのは、冬のこの時期だけです。

また、雪が積もったダムはとても美しく、絶好のフォトスポットです。

◆対策工事の見学

小里川ダムでは現在、ダム湖に面した崩れかけている岸の防災対策工事を行っています。

今回の見学では、この対策工事の方法である「法枠工」や「アンカー工」など、普段なじみの無い工法を分かりやすく丁寧に説明します。

◆ダム内部の見学

小里川ダムは、「ダムの中を自由に見学できる」珍しいダムで、ダムに設けられた展望テラスやギャラリーなどは自由に見ることができますが、今回は普段は入ることのできないダムのゲート室や放流設備などもご案内します。

また、ダムの内部の温度は、1年を通して15℃前後と、暖かさを感じられ快適です。

◆小里川ダム周辺地域の魅力

小里川ダム周辺地域には、たくさんの魅力箇所があります。

例えば、ダム周辺の山々には『磐座（いわくら）』と呼ばれる巨岩や奇岩が点在しています。これは、古代の人々が神様に祈る場所として、さまざまな岩や石を組み、御神体石として祀ったものです。近くへ行くと、まるで6千年前にタイムスリップしたような感覚を体感できます。

また、ダム上流域の恵那市山岡町は、『天然細寒天の生産量が日本一』。朝夕の冷え込みと、昼間との寒暖の差を利用して作られるため、実際に作っている様子は、この時期にしか見ることができない「冬の風物詩」となっています。

このような、ダム周辺の魅力も併せて、ご紹介します。



水を湛えたダム



雪化粧をしたダム



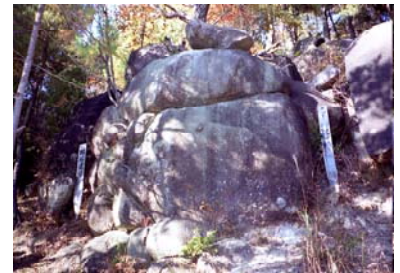
アンカー工事の様子



低水放流設備の見学



天日干しにされた細寒天



ダム周辺に見られる「いわくら」

平成25年1月 日
庄内川河川事務所
小里川ダム管理支所

1/16冬の小里川ダム見学会 取材登録書

「瑞浪市陶町の街づくり組織が小里川ダムの魅力を体験見学」について、取材をご希望の報道機関におかれましては、事前にご登録をお願い致します。

FAX 送信期限 : 1月15日(火) 15時00分まで

1. 報道機関名 _____

2. 取材者等

(1) ご氏名 _____

(2) 連絡先 TEL _____

(3) 取材人数 _____ 人

(4) 取材車両
の種類等 _____

3. 送信先 (FAX) 0573 - 59 - 0058

4. 問い合わせ先

庄内川河川事務所 副所長 谷田 良三
小里川ダム管理支所長 中島 一郎
電話 (0573) 59-0056